

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-256715

(43) 公開日 平成4年(1992)9月11日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 L 9/00		D 6704-3B		
	1 0 5 Z	6704-3B		

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-17419

(22) 出願日 平成3年(1991)2月8日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 西村 博史

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

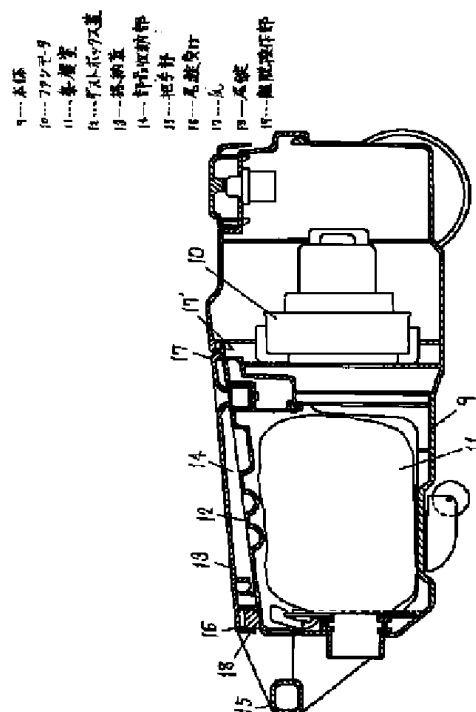
(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54) 【発明の名称】 電気掃除機

(57) 【要約】

【目的】 各種電気掃除機において、本体上部の格納蓋を係止する尾錠受けの金型構成を簡単にすると共に、離脱操作が容易に行え、かつ衝撃には強い格納蓋を提供し、かつ広い部品収納スペースを確保することを目的とした。

【構成】 尾錠受け16をダストボックス蓋12の前部で把手部15に面する壁面に、金型の移動側で形成した。又、尾錠18は格納蓋13の離脱操作部19近傍に設け、尾錠18内側の天面を薄肉にしたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファンモーターを内蔵した掃除機の本体の吸引側に集塵室を設け、この集塵室を覆うダストボックス蓋の上面に部品収納部を形成すると共に、上記部品収納部を覆う格納蓋の一端の爪を上記ダストボックス蓋の部品収納部の前部で把手部に面する壁面に形成し、他端を尾錠で係止し、尾錠受けを上記ダストボックス蓋の部品収納部の前部で把手部に面する壁面に形成し、さらにこの尾錠受け部を作る際には金型の移動側で形成することとした電気掃除機。

【請求項2】 格納蓋の尾錠を、格納蓋の離脱操作部の近傍に形成することを特徴とする請求項1記載の電気掃除機。

【請求項3】 格納蓋の一端に設けた尾錠の内側天面を薄肉に形成することを特徴とする請求項1に記載の電気掃除機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は電気掃除機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、ノズルやホース等の部品の収納部を掃除機本体の上部に形成した電気掃除機が主流になっている。

【0003】 以下、従来の技術を図4を参照して説明する。電気掃除機の本体1内部に設けられた集塵室2の上部はダストボックス蓋3で覆われている。さらに、このダストボックス蓋3は、上部に開閉自在の格納蓋4を取り付けることにより部品収納部5を形成している。

【0004】 上記格納蓋4は、一端の爪6を上記ダストボックス蓋3に引っ掛けると共に、他端に一体形成された尾錠7を上記ダストボックス蓋3に一体形成された尾錠受け8に係止させることで固定されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記構成を有する電気掃除機においては、ダストボックス蓋3の尾錠受け8が部品収納部5にあるため、ダストボックス蓋3を樹脂形成する場合の固定金型側になり、尾錠受け8の金型構成が複雑で高価なものになるという欠点を有していた。

【0006】 又、上記尾錠受け8が上記部品収納部5の前部に位置しているため、部品収納スペース確保の障害となっていた。

【0007】 さらに、上記格納蓋4の離脱操作部（図示せず）と上記尾錠7の位置が離れているため、操作時にかかる力や外部からの衝撃力と、尾錠7形成の際の角度との関係が複雑であるという欠点を有していた。

【0008】 本発明は上記問題点を解決するもので、尾錠受け8の金型構成を簡単にすると共に、格納蓋4の離脱操作の軽減を計り及び衝撃に対し外れにくい尾錠7を有し、広い部品収納スペースを確保できる電気掃除機を

提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明の電気掃除機においては、収納蓋の尾錠受けを、ダストボックス蓋の部品収納部の前部で把手部に面する壁面に形成すると共に、この尾錠受けはダストボックス蓋の移動側金型により形成したものである。

【0010】 又、格納蓋の尾錠は、この尾錠受けに対応するように格納蓋の離脱操作位置の近傍に形成すると共に、格納蓋の尾錠内側天面を薄肉に形成したものである。

【0011】

【作用】 上記構成により、ダストボックス蓋を形成する際には尾錠受け部分が移動側金型から届く位置となり、倒れピン方式等により容易に形成が可能で、金型構造が簡素化されるものである。

【0012】 さらに、格納蓋の尾錠が、格納蓋の前方でかつ離脱操作部近傍に形成されているため、操作性が良くなると共に衝撃が加わった場合でも尾錠が外れにくい。

【0013】

【実施例】 以下、本発明における電気掃除機の一実施例を図1～図3を参照して説明する。

【0014】 9は、内部にファンモーター10を内蔵した電気掃除機の本体で、ホース（図示せず）を通じて吸引した塵芥を集塵室11に溜める。

【0015】 上記集塵室11の上部は開閉自在のダストボックス蓋12により覆われ、さらにこのダストボックス蓋12は、上部に開閉自在の格納蓋13を設けることで部品収納部14を形成している。

【0016】 上記ダストボックス蓋12の部品収納部の前部で把手部15に面する壁面には、尾錠受け16を移動側金型によりダストボックス蓋12と一体に形成している。

【0017】 又、上記格納蓋13の一端には爪17を、他端には尾錠18を格納蓋13の離脱操作部19近傍に設けている。

【0018】 さらに、上記格納蓋13に設けた尾錠の内側天面を薄肉に形成している。上記格納蓋13は、爪17をダストボックス蓋12に設けられた爪受け17'に差し込むと共に、尾錠18を尾錠受け16に係合させることで固定される。

【0019】 以上の構成において、上記尾錠受け16がダストボックス蓋12の前方で把手部に面する壁面に設けている為、部品収納部14を広く設けることができると共に、製造の際には移動側金型で形成することができる。

【0020】 又、上記尾錠18を格納蓋13の前方に設けると共に、尾錠18の内側天面を肉薄にすることで、上記格納蓋13を開閉する際に、尾錠が外れ易くなる。

3

したがって尾錠18の掛りを大きく設けることができるものである。

【0021】

【発明の効果】以上のように本発明は、尾錠受けをダストボックス蓋の前方で把手部に面する壁面に、移動側金型により形成すると共に、尾錠を格納蓋の離脱操作部近傍に設け、尾錠の内側天面は肉薄とした。

【0022】したがって、ダストボックス蓋の部品収納部を広くすることができると共に金型構造が簡素化され、使い勝手が良くなり製造コストを低くできるものである。

【0023】さらに、格納蓋の離脱が容易になるため、尾錠の掛りを大きく設けることができ、外からの衝撃に強い電気掃除機を実現できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における電気掃除機の本体断面図

4

【図2】一実施例における電気掃除機の本体斜視図

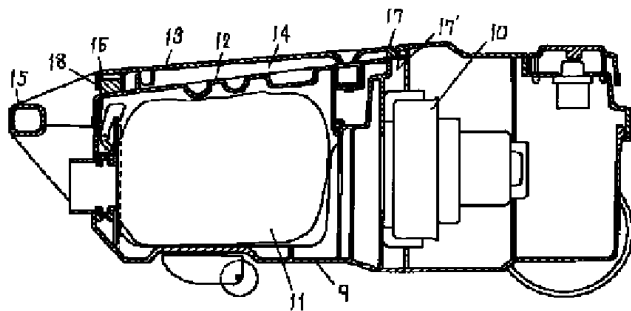
【図3】一実施例における電気掃除機の本体斜視図

【図4】本発明の従来例における電気掃除機の本体断面図

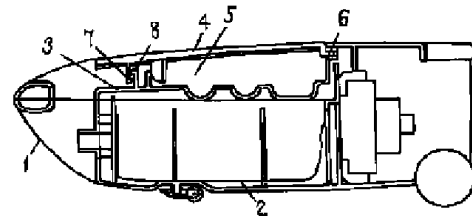
【符号の説明】

- 9 本体
- 10 ファンモーター
- 11 集塵室
- 12 ダストボックス蓋
- 13 格納蓋
- 14 部品収納部
- 15 把手部
- 16 尾錠受け
- 17 爪
- 18 尾錠
- 19 離脱操作部

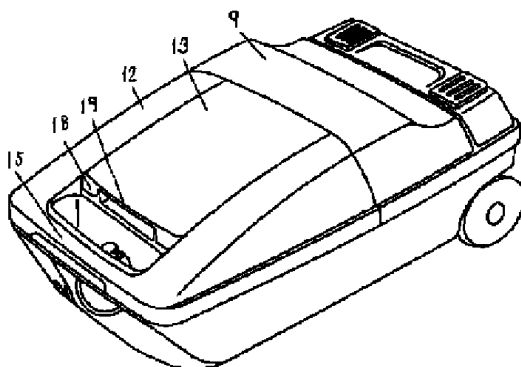
【図1】



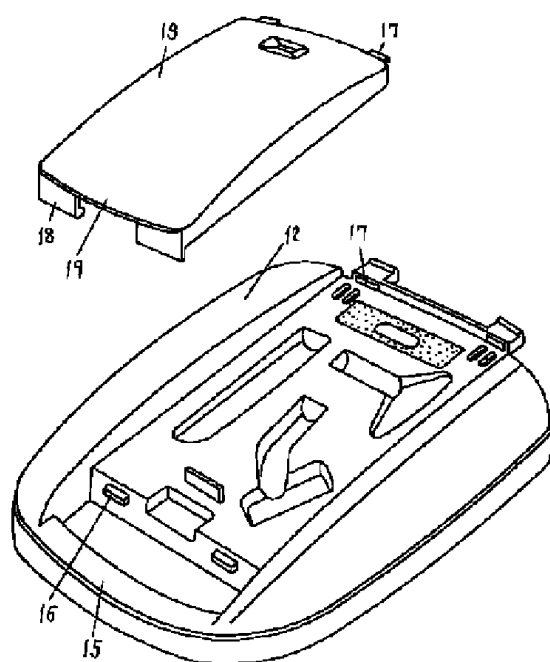
【図4】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP404256715A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04256715 A
TITLE: VACUUM CLEANER
PUBN-DATE: September 11, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NISHIMURA, HIROSHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP03017419
APPL-DATE: February 8, 1991

INT-CL (IPC): A47L009/00 , A47L009/00

US-CL-CURRENT: 15/327.2

ABSTRACT:

PURPOSE: To simplify the metallic mold constitution of a buckle receiver detaining a storing cover of the upper part of a main body, and also, to easily execute the

detaching operation, and also, to offer the storing cover being strong against a shock, and moreover, to secure a wide parts containing space, in various vacuum cleaners.

CONSTITUTION: A buckle receiver 16 is formed by a moving side of a metallic mold, on the wall surface which is in front of a dust box 12 and faces a handle part 15. Also, a buckle 18 is provided in the vicinity of a detachment operating part 19 of a store cover 13, and the top surface of the inside of the buckle 18 is thinned.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio